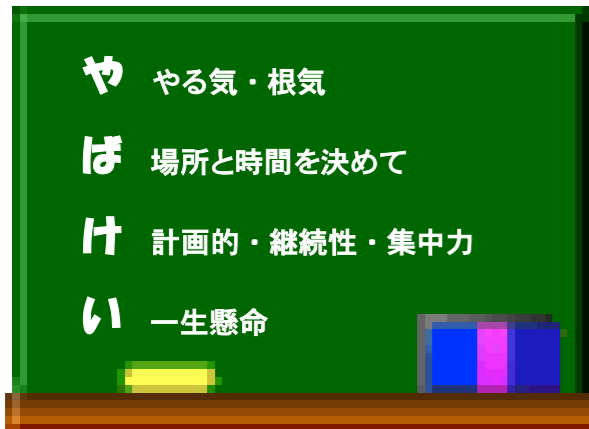


耶學のすすめ

2021

～家庭学習の手引～ (概要版)



教育の原点は家庭にあります。子どもの教育は家庭から始まり、子どもは家族との温かい関わりや体験とおして多くのことを学び、たくましく成長します。

私たちは、家庭で培った「あいさつをする」「早寝早起き」「家事を分担する」などの生活習慣を土台に、学校や社会での多様で豊かな体験とおして、子どもに学ぶことの意味や楽しさを味わわせたいと考えています。また、人と関わることのすばらしさを実感させ、自分に自信や誇りをもたせたいと思っています。そして、将来たとえ困難な状況に陥ったとしても自分で解決方法を見つけ、課題や障害を乗り越えようとするたくましい人間に育ち、学んだことを家庭や地域での生活に生かしてほしいと願っています。

家庭学習や学校での勉強に、目的をもって、毎日きちんと取り組ませることは、こうした成長を促す大切なきっかけの一つであると考えます。

『耶學のすすめ2021』は、子どもが自分の力で目標をもって家庭での学習を進めていけるよう、主に教科の学習に焦点を当て、重要なポイントや具体的なヒントを中心に構成しました。また、何度も読み返しながら自分のものにできるよう、冊子形式にしています。ご家庭の皆様にもアドバイスできるようにしましたので、子どもの家庭学習がさらに充実するように、ご活用いただければ幸いです。

「はじめの一步は家庭から。」を合い言葉に、確かな学力づくりのための家庭学習の充実をめざして、ともに取り組みましょう。

I 家庭での学習を習慣化しよう

※学習時間のめやす → 質の向上へ
90分以上

※学力の基盤は生活習慣

1. 体調を整える。(睡眠時間の確保)
2. 3度の食事をきちんととる。(朝食をとらないと脳が活発に働かない)
3. 時間を守る(自分で起きる)
4. 良い準備をする(持ち物は前日にそろえる)
5. 早い時間にする(早起き)

※集中して取り組む

- ・宿題は必ずする
- ・「ながら」勉強はさける
- ・決まった時間に、決まった場所で学習する
- ・学習の仕方を工夫
- ・毎日自主勉強する
- ・整頓された場所で、よい姿勢で学習する

II 見えにくい力をつけよう!

※ 小学校4年生に入るところになると、学力に差が生じやすくなります。[9歳の壁] それは、主観から客観へ、絶対から相対へ、具体から抽象へジャンプが必要になるからです。→「言葉」と「論理」で獲得していくしかない。

- ・新聞を読みましょう!
→要約200字程度、感想200字程度で書く

※ その他に

- ・家族の一員としての役割を持ち、それをしっかり果たしましょう。
- ・音楽会や展覧会に行くなど、すばらしい芸術にふれる機会をたくさんつくりましょう。
- ・スポーツなどで体を動かし、健康の保持増進に心がけましょう。

III こんな時期です! 中学校3年間!

【中学校1・2年生では】 中学生の生活リズムと学習習慣を!!

- ① 生活リズムの中に家庭学習を! ~最初が肝心~
 - ・まずは習慣化が大切。中学生の生活リズムの中にも家庭学習は大切です。時間を有効に使うことを心がけましょう。
- ② 家庭学習の方法を工夫しよう! ~計画的・継続的に~
 - ・家庭学習の内容は、予習復習を中心に行えばよいでしょう。
 - ・あらかじめ自分で調べたり考えたりして、授業に臨めば、課題を見つける力もつきます。
 - ・授業があったその日のうちにノート整理や教科書・プリントを使ってのポイント整理などをしておく。
- ③ わからないときは! ~聞くは一時的の恥 聞かぬは一生の恥~
 - ・わからないことが出てきたらできるだけ早く解決することです。友だちや先生に相談するとよいでしょう。
 - ・学習課題をやりきったという達成感と自信が、さらなるやる気を起こします。

【中学校3年生では】 夢の発見! 夢の実現に向けて挑戦!!

- ① 日頃の積み重ねが力になる! ~焦らず一歩一歩~
 - ・今までの家庭学習を継続・発展させ、着実に力をつけていきましょう。
 - ・生活スケジュールの見直しを行い、時間を有効に使いましょう。 ・家庭学習ノート等にチェックしていく。
- ② 年間スケジュールを考えよう! ~時期を考慮して~
 - ・3年生の1年間を見すえて、学習計画を立てましょう。3年生の生活は、変化のある一年です。
 - ・長期の休み(夏休み・冬休み)は継続的に学習できる絶好の機会です。計画的に過ごしましょう。
- ③ 家族で話し合しましょう! ~「やすらぎ」と「支え」を~
 - ・将来の希望等について、話し合いの時間を持ちましょう。
 - ・気分が不安定で、いらだったり反抗したりもしますが、じっくりと話を聞く時間を持ち、励まし続けましょう!

精神的にも大人に近づいていく!!

【中学校1・2年生では】

- 「思春期」を迎え、心と体の成長がアンバランスになりがちで、ちょっとしたことで不安・悩みを抱えやすくなります。
- 自我が芽生え、親や周囲の者に反抗的になったり、仲間や友だちの影響を強く受けたりします。

【中学校3年生では】

- 自分の進路を選択する時期となり節目の時です。気持ちが不安定になり、あせったり、いらだったりしがちです。
- 本人だけでなく、家族も不安になりがちです。保護者の不安が、子どもに影響を及ぼすこともあります。本人も家族も正しい進路情報を得ましょう。
- 将来を見すえた具体的な目標を持つことが、意欲の向上・学習への集中につながります。

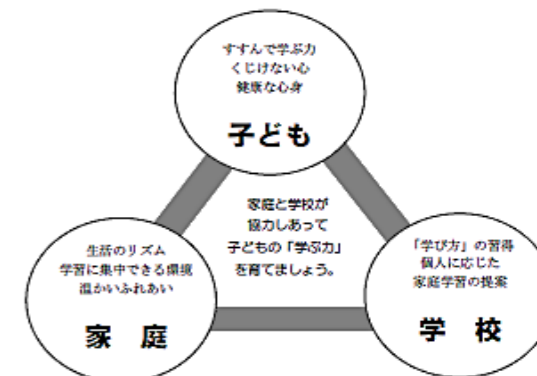
家庭学習は何のため?

～はじめの一步は家庭から～

4つの理由

自立	定着	習熟	習慣
自分のためになる学習ができるようになる。	しっかりと身につける。	身につけられない学習をしっかりとできるようにする。	練習しなくても身につけられる。
計算・漢字・英単語などの	毎日学習する習慣をつける。		

「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、その育ち方は家庭でのかかわり方によって大きく変わります。



- 家庭では**
- 生活リズムを整えましょう。
 - ・早寝、早起き、朝ご飯
 - ・決まった時間に、決まったことを
 - 学習に集中できる環境づくりを。
 - ・ながら勉強をさせない
 - ・整頓された場所で正しい姿勢で
 - 温かいふれあいであらざと支えを。
 - ・努力を認め、励まし、ほめる
 - ・「おはよう」「いってらっしゃい」
 - ・会話と対話

- 学校では**
- 「学び方」を習得させます。
 - ・教科の基礎基本の繰り返し学習
 - ・「個の学び」と「集団の学び」のリンク
 - ・学習計画づくり
 - ・「学びのやくそく」と「話し方・聴き方」
 - 家庭学習方法を提案します。
 - ・学年ごとのポイントと具体例
 - ・教科ごとのアドバイス
 - ・家庭での約束づくりのヒント